

プラグイン開発仕様書

注意事項

- データベースへの登録は e-BASE で行い、プラグイン側ではデータベースにはアクセスしない。
- プラグインと e-BASE の連動はメッセージを利用する。ただし、データのやり取りはファイルを介して行う。
- データファイルフォーマットは“項目=”まで記入する。(但し、場合によっては、項目を表示しない物もある)
- e-BASE インストールパス : HKEY_LOCAL_MACHINE¥Software¥Abiss¥eBase¥Path
見つからない場合 : HKEY_CURRENT_USER¥Software¥Abiss¥eBase¥Path
eBASEserver の場合 : eBASE eBase-Server

e-BASE ウィンドウハンドル

- 下記ファイル (Windows INI ファイル形式) に記述されているクラス名およびウィンドウの名称から取得する。
 - ファイル名 : Gameo.ini
 - ファイルパス : [e-BASE インストールパス]
 - セクション名 : POST
 - クラス名 (キー) : CLASS
 - ウィンドウの名称 (キー) : TITLE

メッセージ

- 登録要求 WM_EBASE_REGIST (WM_USER + 0x05)
 - 更新登録: WParam 0
 - 新規登録: WParam 1
 - 表示データ: LParam 0
 - 非表示データ: LParam 1データファイルフォーマット - 1の形式で(プラグイン側が)記述
- 表示要求 WM_EBASE_UPDATE (WM_USER + 0x06)
 - 前の商品: WParam 0
 - 次の商品: WParam 1
- 削除要求 WM_EBASE_DELETE (WM_USER + 0x07)
 - 表示データ: LParam 0
 - 非表示データ: LParam 1データファイルフォーマット - 2の形式で(プラグイン側が)記述
- 情報要求 WM_EBASE_INFO (WM_USER + 0x08)
 - 商品情報: WParam 0
 - 表示データ: LParam 0
 - 非表示データ: LParam 1データファイルに情報を要求する品番を記述(1品番のみ)
 - データファイルフォーマット - 1の形式で(e-BASE側が)記述
 - 一覧情報: WParam 1
 - データファイルフォーマット - 3の形式で(e-BASE側が)記述
 - 登録品番情報: WParam 2
 - データファイルフォーマット - 2の形式で(e-BASE側が)記述
- スペックタイプリスト要求 WM_EBASE_TYPE (WM_USER + 0x0C)
 - スペックタイプ名を改行区切りで(eBASE側が)記述
- スペック定義情報要求 WM_EBASE_TITLE (WM_USER + 0x0D)
 - 取得したいスペック定義のスペックタイプ名を改行区切りで記述
 - データファイルフォーマット - 4の形式で(e-BASE側が)記述
- 素材ファイル関連 WM_EBASE_IMAGE (WM_USER + 0x0E)
 - 素材ファイル取得 WParam 0
 - 取得したい素材ファイル名(フルパス)を改行区切りで記述 [eBASEserver の場合]
 - 素材ファイル編集 WParam 1
 - 編集する素材ファイル名(フルパス)を記述 [登録済みファイルのみ]

データファイルフォーマット

Windows 標準の ini ファイル形式 (Name=Value) とする。ファイル名 : plugin.dat

ファイルパス : [e-BASE インストールパス]

(1) フォーマット - 1

1. [ItemInfo]

商品に関する基本データを記述するためのセクション。

- Number 品番
- Name 品名
- Price 価格
- Unit 価格単位
- Comment コメント

2. [ImageInfo]

画像に関するデータを記述するセクション。No は 0...Count - 1 までの数値とし、No=0 のファイルがメイン画像となる(「」は不要)。

- Count 素材ファイル数
- File 「No」 素材ファイル名
- Title 「No」 素材のタイトル
- Comment 「No」 素材のコメント
- Prev 「No」 素材ファイルのプレビューファイル名
- OrgName 「No」 素材ファイル登録名

3. [SpecInfo 「No」]

商品スペックに関するデータを記述するセクション。SpecTitle は該当するスペック項目名を記述する(「」は不要)。

Value 値は必ずダブルクォーテーション「"」で囲むこと。

後述するセクション[MultiSpec]によりスペックタイプを記述するセクションが決定

No が 0 の場合は 0 を記述しない [SpecInfo]

- 「SpecTitle」 スペック値

4. [CateInfo]

商品を登録するカテゴリに関するデータを記述するセクション。No は 0...Count - 1 までの数値(「」は不要)。カテゴリ名は「,」(カンマ)区切りで上位階層から順に連結する。

- Count 商品を登録するカテゴリ数
- Name 「No」 カテゴリ名

5. [RelateInfo]

親子関係に関するデータを記述するセクション。No は 0...Count - 1 までの数値(「」は不要)。

- P_Count 親商品の個数
- C_Count 子商品の個数
- Parent 「No」 親商品の品番
- Child 「No」 子商品の品番
- P_Name 「No」 親商品との関連名称
- C_Name 「No」 子商品との関連名称

